

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	福祉住環境論Ⅱ	必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部2年	学期及び曜時限	後期	教室名	日常動作訓練実習室
担 当 教 員	山元 昭彦/吉岡 有理亜				
実務経験と その関連資格	<p>山元 昭彦:作業療法士として身体障害領域の病院に勤務。福祉用具プランナー・福祉住環境コーディネーター2級取得。</p> <p>吉岡 有理亜:作業療法士として身体障害領域の病院・訪問看護ステーションに勤務。在宅での家屋評価・改修業務などに従事する。</p>				
《授業科目における学習内容》					
住宅における生活障害に対し、住環境的側面からの作業療法アプローチの視点を修得する					
《成績評価の方法と基準》					
・レポート :100%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
教科書:福祉住環境コーディネーター検定試験 2級公式テキスト改訂6版(東京商工会議所)					
《授業外における学習方法》					
受講後、アウトプットして確実な記憶にとどめてください。					
《履修に当たっての留意点》					
福祉住環境にかかわる福祉用具や自助具、手すりやスロープにおけるOTの関わり方を実技演習の中で学びますので、積極的な取り組みが求められます。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	福祉用具の種類・目的・使用方法を列挙できる	教科書	左記範囲の復習	
	各コマにおける授業予定	福祉用具(食事・整容関連)			
第2回	授業を通じての到達目標	福祉用具の種類・目的・使用方法を列挙できる	教科書	左記範囲の予習と復習	
	各コマにおける授業予定	福祉用具(入浴・更衣)			
第3回	授業を通じての到達目標	福祉用具の種類・目的・使用方法を列挙できる	教科書	左記範囲の予習と復習	
	各コマにおける授業予定	福祉用具(ベッド～移乗関連)			
第4回	授業を通じての到達目標	福祉用具の種類・目的・使用方法を列挙できる	教科書	左記範囲の予習と復習	
	各コマにおける授業予定	福祉用具(車椅子・シーティング)			
第5回	授業を通じての到達目標	福祉用具の種類・目的・使用方法を列挙できる	教科書	左記範囲の予習と復習	
	各コマにおける授業予定	福祉用具(排泄支援)			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	福祉用具の種類・目的・使用方法を列挙できる	教科書	左記範囲の予習と復習
	各コマにおける授業予定	福祉用具(IADL)		
第7回	授業を通じての到達目標	住環境改善の視点・方法を列挙できる	教科書	左記範囲の予習と復習
	各コマにおける授業予定	家屋評価(住環境に関する事例検討)について		
第8回	授業を通じての到達目標	移動支援の方法・種類・目的を列挙できる	教科書	左記範囲の予習と復習
	各コマにおける授業予定	移動支援		
第9回	授業を通じての到達目標	移動支援の方法・種類・目的を列挙できる	教科書	左記範囲の予習と復習
	各コマにおける授業予定	移動支援		
第10回	授業を通じての到達目標	住環境に潜むリスクへの解決方法を列挙することができる	教科書	左記範囲の予習と復習
	各コマにおける授業予定	住環境に潜むリスク		
第11回	授業を通じての到達目標	模擬事例に対する自助具を考え・作成することができる	教科書	左記範囲の予習と復習
	各コマにおける授業予定	自助具の作成		
第12回	授業を通じての到達目標	模擬事例に対する自助具を考え・作成することができる	教科書	左記範囲の予習と復習
	各コマにおける授業予定	自助具の作成		
第13回	授業を通じての到達目標	福祉用具・住環境に関する国家試験問題を解く	教科書	左記範囲の予習と復習
	各コマにおける授業予定	住環境に潜むリスク		
第14回	授業を通じての到達目標	福祉用具・住環境に関する国家試験問題を解く	教科書	左記範囲の予習と復習
	各コマにおける授業予定	住環境に潜むリスク		
第15回	授業を通じての到達目標	福祉用具・住環境に関する国家試験問題を解く	教科書	左記範囲の予習と復習
	各コマにおける授業予定	国家試験問題		